

「学生の授業評価」についての教員アンケート
集計結果報告（2009年度 前期分）

2010年2月

実践女子短期大学自己評価委員会

はじめに

短期大学部長 小林 修

本学では前期後期それぞれの授業終了時に全教科で学生による授業評価を実施しています。この『教員アンケート集計結果報告』書は、その学生による授業評価の結果を各教員がどのように受け止めているかアンケート形式で調査した結果を自己評価委員会が集計し、まとめたものです。常により良い授業をと考えている我々にとって、学生の声である授業評価は重要な情報であり、それを受け止めた教員の声を知ることも自らの授業改善に重要な参考となることは改めて言うまでもありません。毎回のことながら本報告書編集はたいへんな作業であり、ご尽力下さった自己評価委員会の方々の労に対し感謝の意を表したいと思えます。『教員アンケート集計結果報告』書も6年目を迎え、通算して11号目となりますが、年々改良が加えられ読みやすくなってきています。関係各位一人でも多くの人に読まれ、参考にしていただきたいと願っています。

さて、今回の集計結果を見ますと、学生の授業評価に対して「十分納得できた」が38%、「だいたい納得できた」の57.8%を加えると、95.8%と安定して高い数値を示しています。自由記述欄には相変わらず学生の安易な評価姿勢への不信の声が見られますが、学生の授業評価自体は概ね信頼できると受け止められたようです。「十分納得できた」が前年度32.2%から今年度38%にアップしたこともそれを裏付けていると思われます。

また、今年度から実践スタンダード科目を始め共通教育がスタートしましたが、それらの新しい科目に対する学生の評価や、それを受けた教員の声がこの報告書からも窺えればと思っていますが、集計はそれらの科目も含めて総合的に反映されているものと言えましょう。

本報告書の重要なコンテンツの一つは自由記述欄の収録にあると思っていますが、今回も様々なお意見やご要望に教えられることが多く、「学生により良い教育を提供したい」との思いはしっかりと共有されており、教員それぞれが自らの授業改善に地道な努力を傾注されていることに改めて意を強く致しました。全国的に短期大学を取り巻く状況は相変わらず厳しいものがありますが、優れた教育力を示すことこそ逆風への打開につながると思えます。繰り返しになりますが、この報告書が実践女子短期大学の教育力向上のために、大いに活用されることを願っております。

2009 年度前期「学生による授業評価」に関する教員アンケートについて

自己評価委員長 萩野 敏

2009 年度前期の『教員アンケート報告書』が完成しましたのでお届けします。

今回のアンケートに対しては、71 通の回答が寄せられました。前年の 2008 年度は前期が 59 通、後期が 58 通という回答数でしたので、今回は 2 割ほど多くの方から回答をいただいた、ということになります。

今回から、主として集計作業の効率化をはかるために、原則として、回答は用紙へ手書きにしたものではなく、ファイルにデータとして打ち込んだものを提出していただくこととしました。このことで回答数が減るのではないかという心配もあったのですが、結果的には、かえって前年度以上の数の回答を得ることができました。多くのご協力をいただいたことに深く感謝いたします。

今回も「学生の評価を全体としてどう受け止めましたか」という問いに対して「だいたい納得できた」「十分納得できた」とする回答は、合わせて 95.8% (2008 年度前期は 96.6%、2008 年度後期は 98.2%) という非常に高い値になりました。個別の項目に対しては様々なお考えを頂戴していますが、学生からの授業評価自体は肯定的に受け止めたうえでものだと考えてよいようです。

自由記述に関しては、前回からややまとめ方を変えて、「特になし」のようなものは無回答と同じ扱いとし、項目毎に何名から回答があったのかを数字で明記することにしました。読みやすさを考え、また回答者や科目の特定をさけるため、一部で字句や表現の修正等を行っているのは、これまでと同様です。

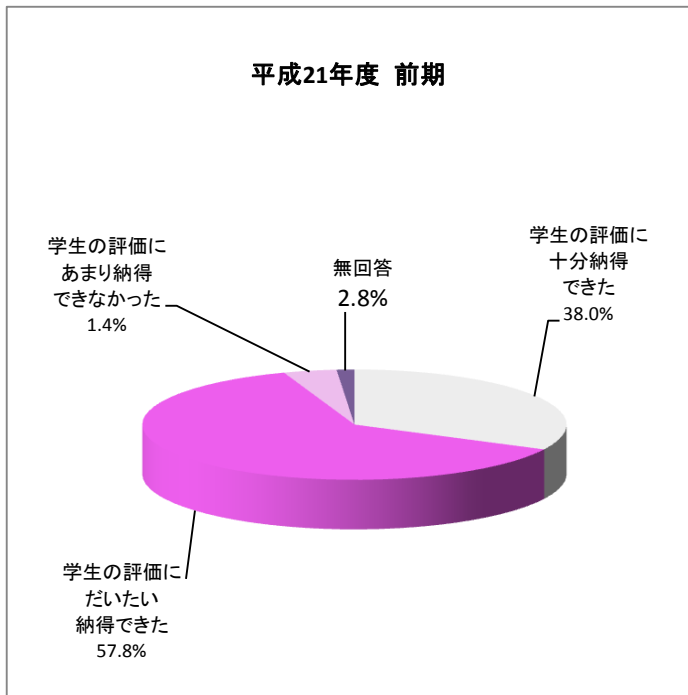
なお、今回も設問 5 で学科や短大への要望を少なからず頂戴していますが、特に教室の設備など教育環境に関するものは、アンケートの実施を待つことなく各学科・課程の研究室や講師控室にご連絡をいただければと思います。

最後になりましたが、この『報告書』が活用され、各授業の改善と向上に資することを心より願っております。

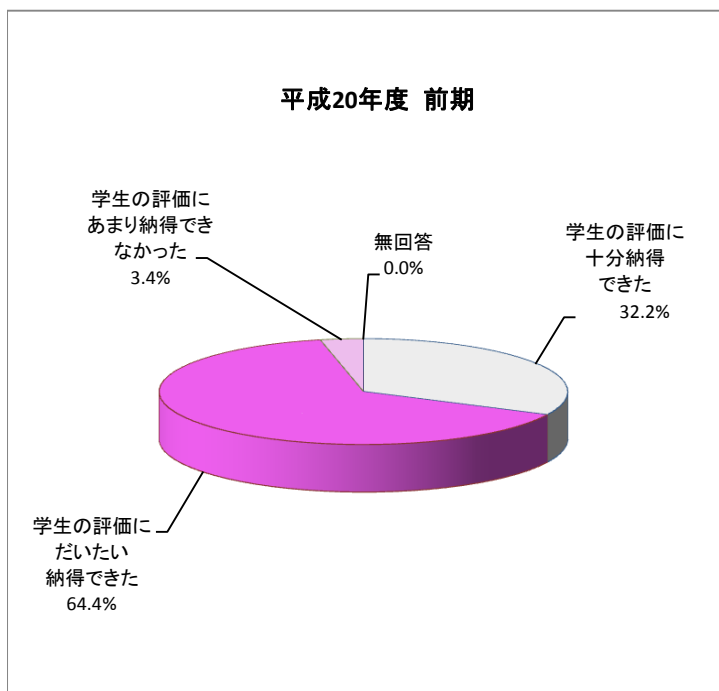
I. 設問 1、3、4に関する集計結果

— 平成20年度前期と平成21年度前期の比較 —

設問 1. 学生の評価を全体としてどう受けとめましたか。(一つ選んでください)



選択肢	回答(人)	割合
学生の評価に十分納得できた	27	38.0%
学生の評価にだいたい納得できた	41	57.8%
学生の評価にあまり納得できなかった	1	1.4%
無回答	2	2.8%
合計	71	100.0%

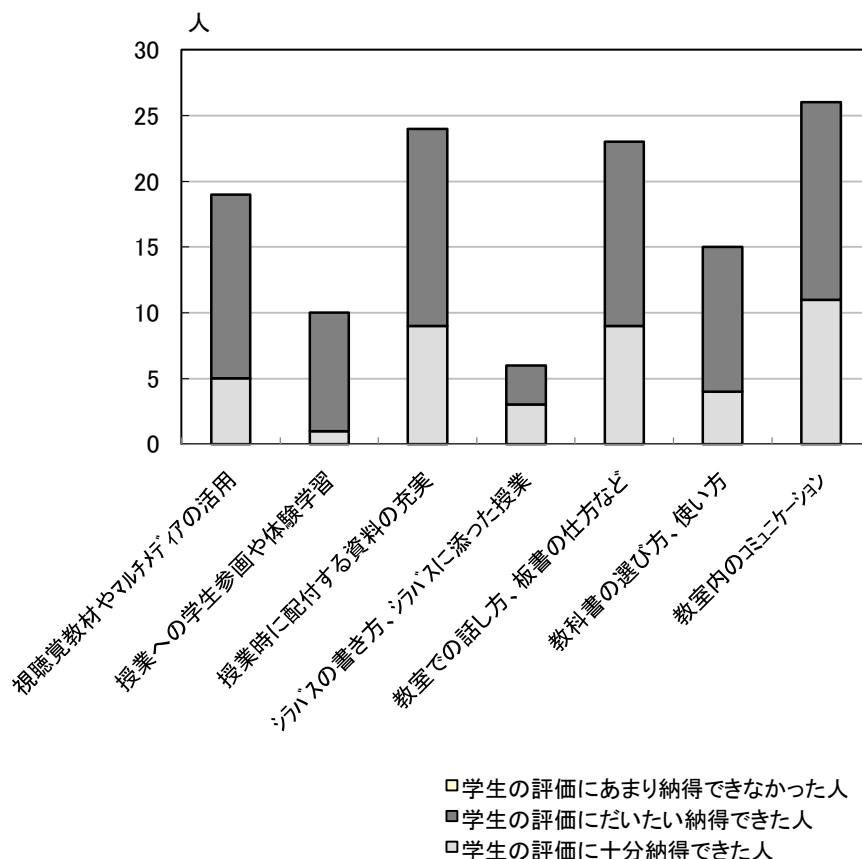


選択肢	回答(人)	割合
学生の評価に十分納得できた	19	32.2%
学生の評価にだいたい納得できた	38	64.4%
学生の評価にあまり納得できなかった	2	3.4%
無回答	0	0.0%
合計	59	100.0%

次の設問3および設問4は、学生の評価に「十分納得できた人」「だいたい納得できた人」「あまり納得できなかった人」の3群の先生方が、どのように授業改善を図りたいと考えているのか、学生に対してどのような要望をお持ちかを、それぞれ棒グラフにしました。

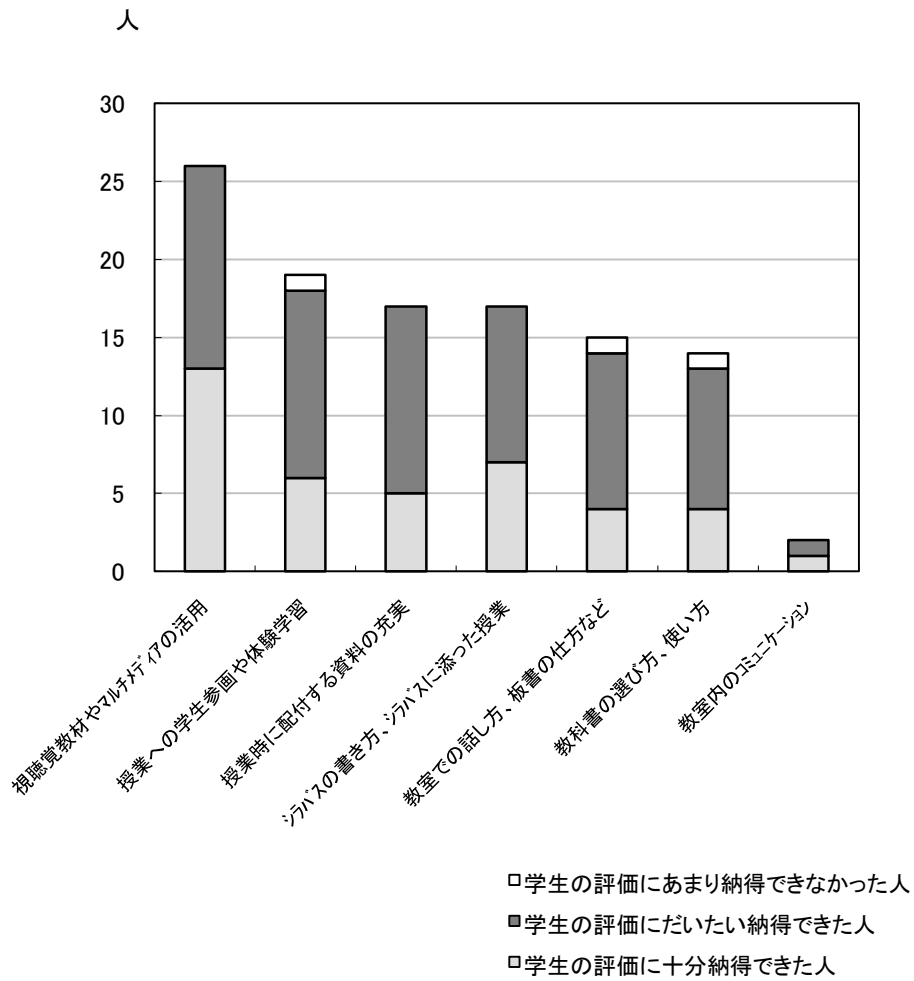
設問3. 学生の評価結果を踏まえて、今後の授業で特に改善を図りたい点はどのようなことですか。（複数回答可）

平成21年度 前期



授業で改善を図りたい点	学生の評価に十分納得できた人	学生の評価にだいたい納得できた人	学生の評価にあまり納得できなかった人	合計 (人)
視聴覚教材やマルチメディアの活用	5	14	0	19
授業への学生参画や体験学習	1	9	0	10
授業時に配付する資料の充実	9	15	0	24
シラバスの書き方、シラバスに添った授業	3	3	0	6
教室での話し方、板書の仕方など	9	14	0	23
教科書の選び方、使い方	4	11	0	15
教室内のコミュニケーション	11	15	0	26
その他	6	9	0	15
無回答	0	0	2	2

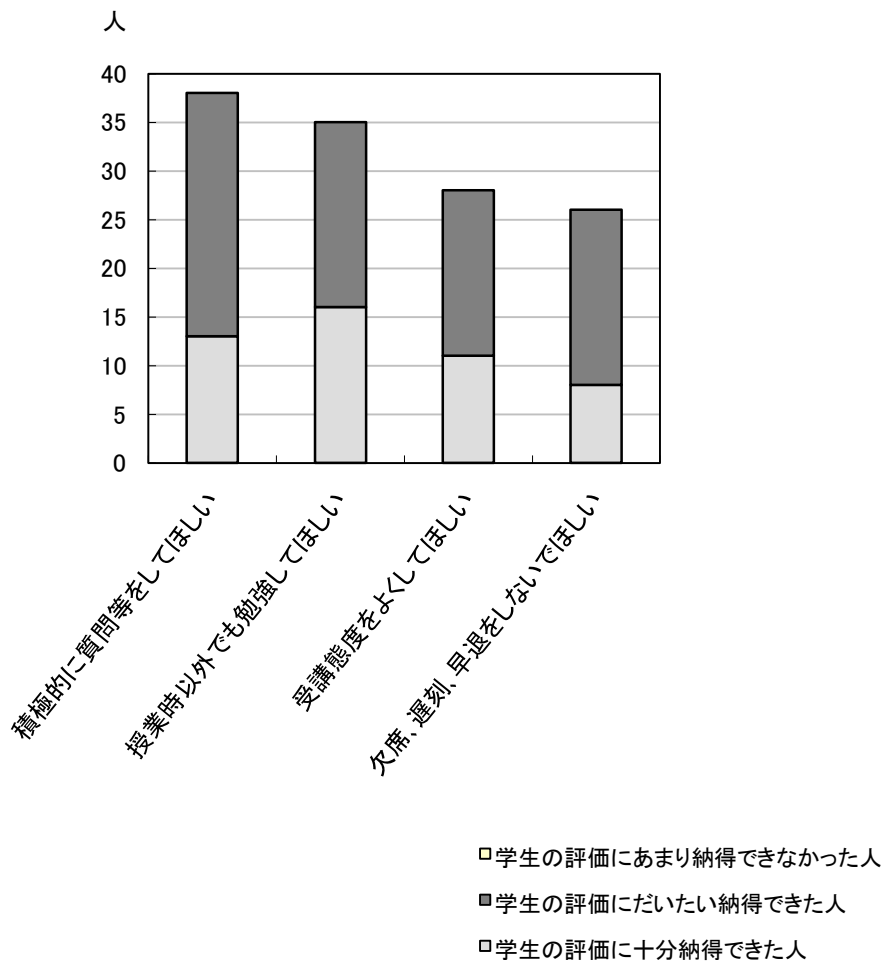
平成20年度 前期



授業で改善を図りたい点	学生の評価に十分納得できた人	学生の評価にだいたい納得できた人	学生の評価にあまり納得できなかった人	合計 (人)
視聴覚教材やマルチメディアの活用	13	13	0	26
授業への学生参画や体験学習	6	12	1	19
授業時に配付する資料の充実	5	12	0	17
シラバスの書き方、シラバスに添った授業	7	10	0	17
教室での話し方、板書の仕方など	4	10	1	15
教科書の選び方、使い方	4	9	1	14
教室内のコミュニケーション	1	1	0	2
その他	1	5	0	6
無回答	1	4	1	6

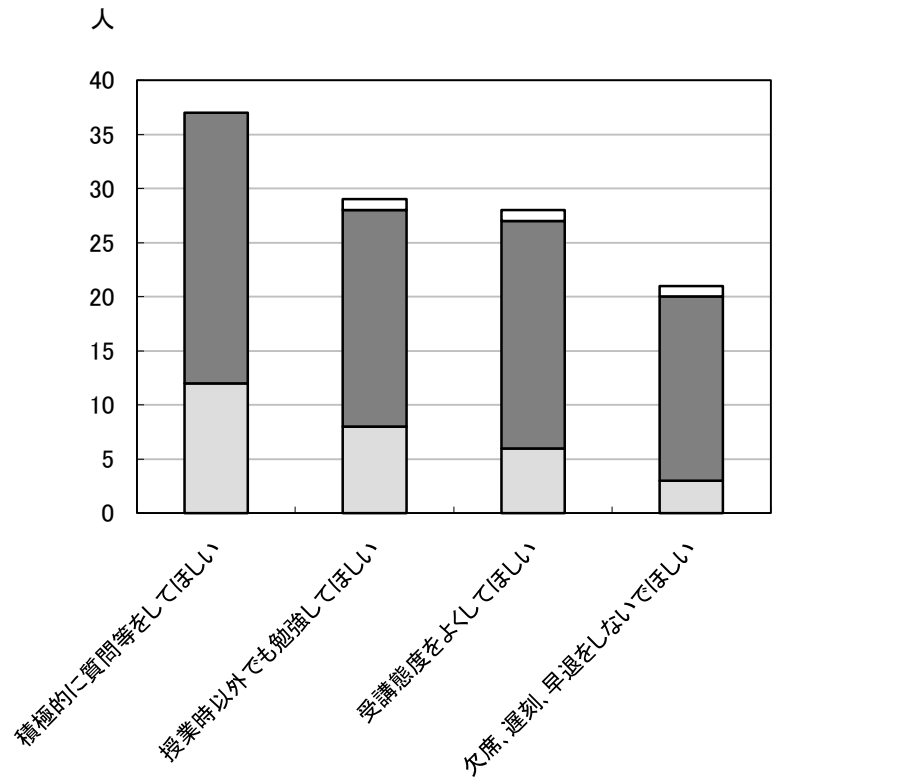
設問 4. この評価結果を見て、学生に対する要望としてはどのようなことがありますか。
(複数回答可)

平成21年度 前期



学生に対する要望	学生の評価に十分納得できた人	学生の評価にだいたい納得できた人	学生の評価にあまり納得できなかった人	合計 (人)
積極的に質問等をしてほしい	13	25	0	38
授業時以外でも勉強してほしい	16	19	0	35
受講態度をよくしてほしい	11	17	0	28
欠席、遅刻、早退をしないでほしい	8	18	0	26
その他	4	6	0	10
無回答	2	2	2	6

平成20年度 前期

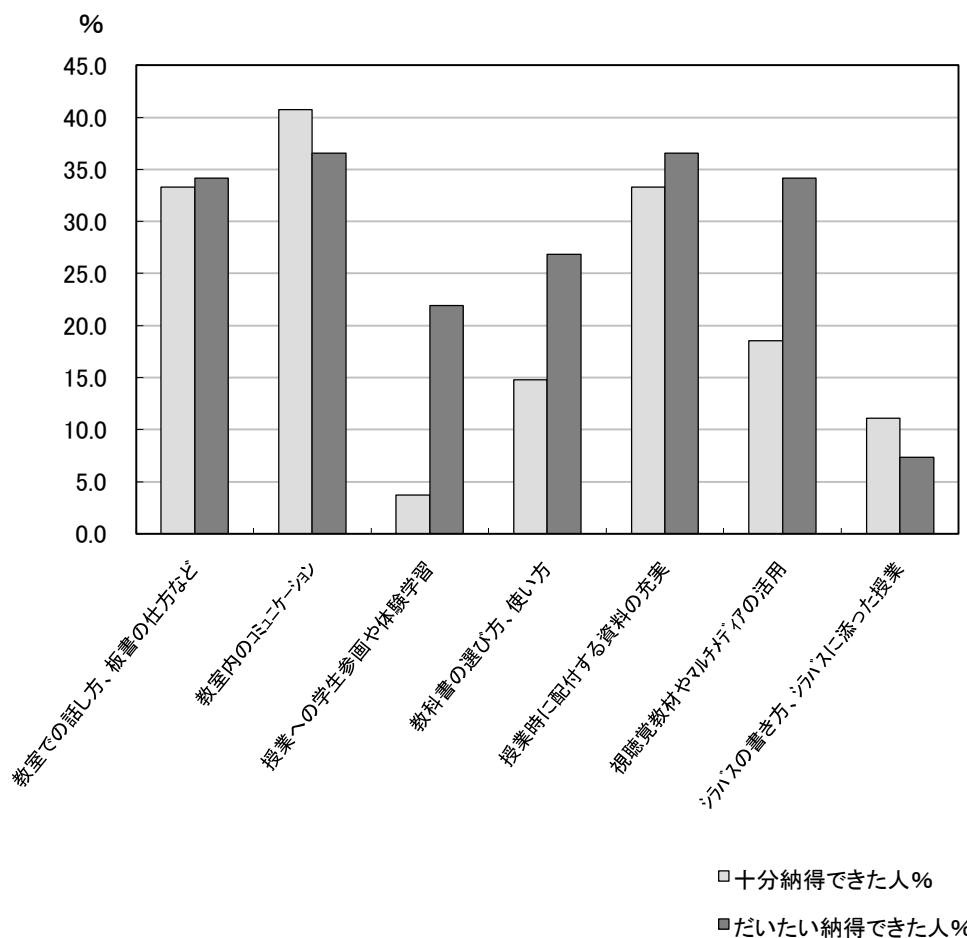


学生に対する要望	学生の評価に十分納得できた人	学生の評価にだいたい納得できた人	学生の評価にあまり納得できなかった人	合計 (人)
積極的に質問等をしてほしい	12	25	0	37
授業時以外でも勉強してほしい	8	20	1	29
受講態度をよくしてほしい	6	21	1	28
欠席、遅刻、早退をしないでほしい	3	17	1	21
その他	1	2	0	3
無回答	3	4	1	8

学生の評価に「十分納得できた人」と「だいたい納得できた人」の割合の差について

I 設問3. 学生の評価結果を踏まえて、今後の授業で特に改善を図りたい点はどのようなことですか。(複数回答可)

平成21年度 前期



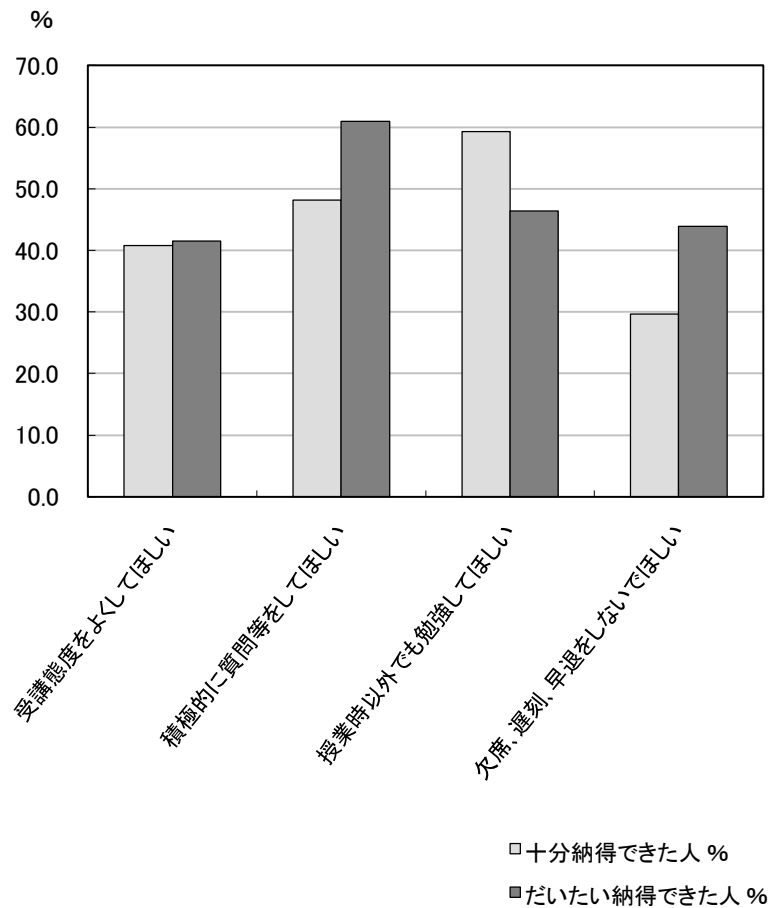
授業で改善を図りたい点	十分納得できた人 (27人)		だいたい納得できた人 (41人)		合計 (人)
	人	%	人	%	
教室での話し方、板書の仕方など	9	33.3	14	34.1	23
教室内のコミュニケーション	11	40.7	15	36.6	26
授業への学生参画や体験学習	1	3.7	9	22.0	10
教科書の選び方、使い方	4	14.8	11	26.8	15
授業時に配付する資料の充実	9	33.3	15	36.6	24
視聴覚教材やマルチメディアの活用	5	18.5	14	34.1	19
シラバスの書き方、シラバスに添った授業	3	11.1	3	7.3	6
その他	6	22.2	9	22.0	15
無回答	0	0.0	0	0.0	0

※ 無回答を除く1人当たり回答件数 1.8件 ↓ 2.2件 ↓

注: 「十分納得できた人」27人に対する割合 「だいたい納得できた人」41人に対する割合

Ⅱ 設問 4. この評価結果を見て、学生に対する要望としてはどのようなことがありますか。
(複数回答可)

平成21年度 前期



学生に対する要望	十分納得できた人 (27人)		だいたい納得できた人 (41人)		合計 (人)
	人	%	人	%	
受講態度をよくしてほしい	11	40.7	17	41.5	28
積極的に質問等をしてほしい	13	48.1	25	61.0	38
授業時以外でも勉強してほしい	16	59.3	19	46.3	35
欠席、遅刻、早退をしないでほしい	8	29.6	18	43.9	26
その他	4	14.8	6	14.6	10
無回答	2	7.4	2	4.9	4

※ 無回答を除く1人当たり回答件数 1.9件 ↓ 2.1件 ↓

注：「十分納得できた人」27人に対する割合 「だいたい納得できた人」41人に対する割合

Ⅱ. 設問1から6に関する自由記述のまとめ

*科目および担当者が特定される記述は、文章を損ねない範囲で修正いたしました。
また、類似の記述については、まとめさせていただきましたことをご承知ください。

設問1. 学生の評価を全体としてどう受けとめましたか。 (有効回答数 43/71)

1. 十分納得できる (有効回答数 16/27)

- ・授業態度から推測して納得。また、総合満足度のグラフからも納得。
- ・学生参加型の授業で、学生とのコミュニケーションをとりながら進めたことが良い評価に繋がったものと思う。
- ・毎回「授業アンケート」を実施して、具体的な意見を把握しているが、その結果と合致している。
- ・学生の興味を喚起するよう努めたが、ある程度うまくいっていたことがわかった。
- ・学年必修の為、同じ内容をやっても各学科のクラスによって授業の難易度の受け止め方に違いが出ているが、試験の結果も同様に出ている。易しすぎたという回答が多いクラスは評価がA・+Aが多く、難しいと回答が多かったクラスはC・Bが大半。こちらが授業で感じていたことと大差なかった。難しいという回答の多いクラスはおしゃべり人口も多く、量も多いと書いている。易しいと答えたクラスは量が少なく感じている。
- ・授業はシラバス通りに進みましたので、Ⅱ-3に対して「あまりそう思わない」の回答があったのは納得いきません。
- ・私が意図したことをよく理解し、協力してくれたと思います。
- ・学生さんは真面目に回答して下さっていると思います。
- ・ガイダンスで、講義の進め方、質問のチャンス、試験の実施の仕方等を説明し、それに従って授業をしたので、講義の中で学生とのコミュニケーションはとれていたという感触を得ていたから。
- ・大半の学生は講義内容に興味をもち概ね理解していた様でした。
- ・100%が「大変満足」というのは、自己評価以上に学生が高く評価してくれたと思います。学生に感謝します。
- ・割と率直に評価されていると思います。こちらの良かった点と至らなかった点をしっかり指摘されていました。
- ・納得できる点：実験の授業なのでどうしても私語が増える点、授業で用いる資料を準備して計画的に熱心に進めたところが理解されている点、難しかったが、意欲的に取り組み、新たな知識や技術が得られたと感じている点。
- ・評価をどこまで授業に反映させるのか、短大としての方針を示していただけると助かります。
- ・半年間の学生達の変化を考えると納得できる。生き生きと学習し、エンカウンターとして自他認知が高まった。
- ・すべての項目に対して、正直に評価されたと思います。

2. だいたい納得できる (有効回答数 24/41)

- ・授業中の態度から、ある程度の想像はつききました。
- ・自由記入欄に書かれた意見から、こちらの思惑通りだった部分や、意外に好評だった点などがわかり、評価に納得しています。ただ、評価に個人差もある点、アンケートを実施するタイミングによる若干の揺れが予想できる点で1ではなく2と回答しました。
- ・同一内容の授業を2クラス行っていますが、ただ1点「この授業を受講して、あなたの興味や関心は増えましたか」の評価が分かかれ、原因を考えております。「強くそう思う」が片方のクラスが35.5%、もう一方のクラスが62.1%です。
- ・アンケートの回答資格者が受講生全員で無記名のため、欠席の多い学生にも評価されてしまう点に少々疑問を感じる。
- ・中教室だったのに、今期は私語も居眠りも少なく、途中退席もほとんどなく、とても授業を進めやすいという感触の反面、ちゃんと聞いているのか一抹の不安があったが、アンケート結果も、私語、および意欲的に取り組んだかどうかの項目も平均を上回っていた。受講生たちも努力していたのだと改めて感じる。評価も以前よりは(大分)よくなった。講義科目ではあっても、受講生自身の取り組む姿勢と授業の受け止め方との相関関係を再認識させられたように思われる。
- ・受講生と接しながら感じていたことと大同である、という意味で納得できます。アンケートの結果は授業のよしあしの評価とは別であると解釈します。
- ・大体の評価が「やや難しい」という中、数%は「やさしすぎる」という状態で、学力のレベルの差が大きいことが推測できるので、それなりの評価になったと考えられる。一方で、「やや不満」と「大変不満」を併せていずれの科目も5%程度は致し方ない数字という考え方もあるかと自分に甘くなっています。
- ・ビデオ教材を使った授業や、練習問題を解くのではなく、実用的な授業のほうが、満足度が高いというのは、納得できました。
- ・自身の態度等に関する自己評価は甘く、教員に対しての評価は厳しいという傾向は相変わらずである。専門職として、実務に従事した際に役立つ内容を中心とした視点で講義等を行っているが、なかなか実感がわかないためであると思われる。
- ・初めて聞く内容も多かったと思いますが、内容的に興味や関心を持ってくれた学生が多かったという点については、良い成果であったと考えています。
- ・「実験」であるという認識が無いのか、実験に参加しない学生がおります。そのような学生には極力声がけをしますが、1年生の授業ですでに苦手意識を持っているためか、なかなか行動をおこしません。そのような学生の割合と不満を持っている学生数がほぼ一致しています。
- ・全体として、学生は正直に自分の気持ちを書いていると思われる、という意味では納得できますが、「授業評価とは何か」ということが理解できていないため。評価項目によっては、「自分勝手な願望」を表しているように見受けられる点においては納得できない。

- ・レベルが低いクラスで、問題量がすくないという意見がでている。(同じ問題を使用している上級クラスではそのような発言がない。)
- ・講義概要通りに授業を進めたのに、3問目に28%が思わないや言えないと答えた全体、どちらとも言えないと答えた学生が多い(食栄25%)
- ・生徒達が素直に評価してくれた所。
- ・中によく考えずにマークした(評価が一律)と思われるシートもありそうなので。
- ・例年通り、自分にとって専門性が高いものほど評価が厳しく、専門性が低くて苦勞している科目ほど評価がよいこと。
- ・特別指示しなかった16・17の項目まで回答している例が見られ、相変わらず惰性的に書いている学生がいることが、評価の信頼度を下げている。
- ・受講者数の多少により評価が異なる。学生の理解度レベルはさまざまであるため、少人数クラスのほうが教育効果は上がる。
- ・学生の反応と同様だった。反応をみながら授業をすすめているので、アンケート結果にも納得できる。
- ・昨年の授業内容から改善しようとした点が結果に出た。反面、学習態度の悪さ、私語による授業妨害の改善はあまりうまくいかなかった。
- ・シラバスやテキストの流れのとおりにはいかなかった点。
- ・自宅での学習用に豊富な資料を提供しているので、もう少し、評価が高くともいいように思うのですが。
- ・学生が授業を受ける雰囲気になっていかない中でこの評価に何の意味があるのか不明です。

3. あまり納得できない (有効回答数 2/2)

- ・納得などできるはずがない
- ・できるともできないとも言えない。学生が授業を理解できるかどうかは、各人の能力や関心の度合いによる。ある学生が興味を持つ事柄であっても、他の学生が興味を持つとは限らない。

設問2. 授業のレベルと量についての学生の評価はいかがでしたか。この評価について、先生の側から見たご意見をお書きください。

a. レベルについて (有効回答数 62/71)

- ・学生には興味を持って受け入れやすい内容であり、レベルであると思うので、4.5点は妥当な評価だと思う。
- ・適切であったと思う。個々のレベルに差はあるが各々に成長がみてとれた。
- ・レベルが若干高かったという評価であるが、学生自身のレベルよりも高い内容の方が達成感を感じられるため、問題はないと思われる。事実、総合満足度では、大変満足かやや満足となっているように、大変だったが良かったといった感想が見受けられる。

- ・1名難しすぎたとあるが、難しいと感じていても目的のレベルには達していると考えているので、問題はないと考える。
- ・レベルについては個々の差が大きく、元の知識量の差もさることながら、積極的に学ぼうという姿勢についてもかなりばらつきがあるように感じました。栄養士養成の目的でも専門知識は必須であり、もう少しハイレベルの内容でもついていかれることが望ましいと思います。
- ・回答には幅があったが、それは学生の能力差を反映したものだと思われる。その点では、多くの学生が理解できる授業を進められたと感じている。
- ・「本づくりの基礎」というよりは、出版界の周辺を業務の流れに沿って解説した。
- ・納得できる。
- ・本年度は例年よりレベル・量を下げた。この結果学生の評価は上がったようである。しかし、これが良いことかどうかはわからない。
- ・「難し過ぎた」と「やや難しい」を合わせて0人、「やや易しい」と「易し過ぎた」を合わせて2人という結果でした。昨年との結果は、前者が5人で後者が0人だったので逆転したことになります。高校における情報教育や家庭へのPCの普及の影響でしょうか。
- ・基礎的レベルでの授業を心掛けた。学生からの評価は比較的高かった。
- ・妥当だと思います。インテグなど、テキストが共通の場合、学生に合わせてより工夫していきたいと思います。
- ・これはまだ平均よりも評価が低い。しかし、自由記入欄に「やや難しい講義」だったが「今まで知りえなかった」登場人物の「思いや」「関係は」「新鮮だった」、「内容自体は興味深くて面白かった」等ともある。以前よりも受講生たちの理解度にバラつきが生じてきたようにも思われ、どのくらいのレベルを設定したらよいのか…？
- ・「強くそう思う」21.4%、「ややそう思う」21.4%、「どちらとも言えない」が42.9%。以上で大多数のため、妥当なレベルを設定していると判断します。平均に比べてレベルが高いという分析がなされていますが、レベルを今より下げる必要を認めません。
- ・レベルについては差が大きいことにより評価も自ずと異なってくることは致し方ないと思う。レベルの高い学生をより多く入学させることが出来ればこのような問題は多少減少するのではないかと思うが。
- ・それほど高いとは思わなかったが、少し高かったのかと考えさせられた。
- ・レベルは高めと思っていたが、適切なレベルに「そう思う」「ややそう思う」と回答した学生が多くいたが、どのくらい理解できていたか不安が残る。
- ・この10年間、説明や媒体は工夫しましたがレベルは下げません。十分学生に受け入れられていると考えます。
- ・少し難しかったかもしれないが、コメントの多用、時事的な諸例の提示をしたので、

当方の質問、学生の質問等のやりとりがスムーズにでき、学生がよくついてきてくれたと感謝している。

- コンピューターの普及に伴い理解力が低下した昨今、学生の評価はこの程度で仕方がないかと思われまます。
- 文法クラスは、レベルが適切でない＝レベルが高い＝難しいという回答が多かったです。やはり英語よりも文法は難しいので仕方ありません。
- 他の評価がほぼ5であるのに対して、レベル評価は4.6でした。授業では学界の通説、世間の常識、そして新しい歴史の見方を話しました。少し盛り沢山すぎたかも知れませんが、学生の学習レベルをもう少し考慮すべきでした。
- 高校までの授業をきちんと受けていない学生もいるが、全員に配慮したレベルにしたので、難しくはないが、一通り把握できたものと思う。
- クラスの大多数がレベルと量については満足しているようだが、易しすぎるのもっと難しいものをもと具体的に書いていた学生が2名ほどおり、後期ではその対策をとりたいと考えている。
- 適当だったようだ。
- 社会で役立つ、通用する専門知識や技術を習得させることに主眼を置いているためレベル的には他学と比べれば、レベルは決して低くはないと思う。将来、専門職として就業したいと考える学生には必要な内容であると思っている。
- なるべく分かり易いように工夫しているつもりであるが、授業中反応に乏しい。
- 少し難しいという評価があったが、授業の性格上レベルを下げることはできないため、積極的に学生の質問を受けることにした。対策として、毎回授業後にアンケートをとって質問に答えることにしている。
- レベルについては社会生活での経験等も必要なものもあり、レベル的に高いという学生もいるようであるが、内容的に関心度が高いということを考えれば妥当なレベルであったと考えています。
- 1年生の講義は初めてだったので、学生さんがどの程度の基礎知識があるかわからないで進めてしまった。私としては易しい話をしたつもりだったが、学生さんにとっては難しかったようだ。
- 難しい又はやや難しいがほとんど。→多分学生にとってほとんどが初めてのことなので、難しいと感じていると思う。また、説明するに当たり少し難しいことも必要になるのでそのように感じるのは納得できる。レベルを下げることは可能だが、授業を受けた結果、興味や感心が増え、新しい知識や技術を得ることができたと感じており、この授業を受けてよかったと感じているようなので、あまりレベルを下げることを考えなくてもよいかと思う。ただし、なるべくわかりやすいように説明するよう努めることはしたいと思う。
- 栄養士として勤務することを想定し、日常の厨房の衛生管理を簡易法中心に実施いたしましたので、レベル的には決して高くないと思っております。
- 「難しい」という評価については、「授業はやさしいほうが楽」という自分勝手な願望でマークしているとしか思えない。なぜなら、「自由記入欄」に書かれた感想を読んでみると、ほぼ全員が「単語テストが大変でした」と書いているが、その後に「で

も、勉強になったのでよかった」と書いている。授業自体のレベルに関しては何の不満も書いていないどころか、「わかりやすかった」と書いている。つまりは、「レベルが難しい」イコール「テストはイヤ！」という意思表示でしかない。

- ・基礎項目のみを厳選して問題を作り、最低限をカバーするようにした。(TOEICのリーディングで100点アップを目指したもの。)
- ・食栄：やや易しい80%。英コミ：やや難しい100%。同じ教科書を使っているのに。
- ・レベルより、これから先が大切だと感じます。
- ・ある科目の評価が今年は3.2と、例年より大幅に下がった。授業内容は前年と何ら変わらないので、こうした事象が何に由るのか興味深い。受講生は2年生が多かった。
- ・他の科目は評価が4.2~4.3内なので、ねらい通り。
- ・レベルを下げての授業が多くなったが、下げきれずにいた科目については予想通り難しかったとの評価が多く出た。どこまで下げたら下げ止まりとなるのか、はなはだ心許せない。
- ・アンケート結果から、概ね想定したものと合致したと思われるが、全体的により底上げする必要があると考えている。
- ・徐々に今までの常識的なレベルすら学んできていない学生が増えてきつつあり、難しいと言われても、これくらいは短大生として分かっている欲しいというせめぎ合いがある。
- ・「難しい」・「やや難しい」と感じる層が多いことには変化がない。ただし、今年度入学者において、教員の授業方法の工夫を評価する学生がでてきている。授業運営にきちんと意見がいえる層がいる点で、ここ数年の入学者との差を感じた。
- ・毎回悩むところですが、45%位の満足度を目安にしており、大体その程度の回答を得た。
- ・1科目だけ、53%だったが、これは実践入門セミナーだから、授業内容・目的から見ても妥当なところか？
- ・レベルについての評価は学生のレベルにもよるため、クラス全体のレベルをどこに設定するかは難しい。
- ・ややそう思うというのは、難しいという意味か、少し物足りなかったのかが分かりにくい。
- ・一部、適切ではないとの回答がありました。しかし、そのほとんどは「難しい」と回答しており、基礎学力や意欲が不足している学生がみられる状況では、このような回答が出てくるのは仕方がないことだと思います。
- ・もう少々内容を易しくする必要もあるが、難しくとも、技術を得た充実感、達成感を味わっていると納得できる為もあり、授業の対応で考えていきたい。
- ・まずまず合っていたと思う。
- ・適切。
- ・概ね適切という評価。

- ・学習するための基礎的な学力水準が低下しているため、常にレベルを下げる方向で進まなくてはならないのが残念です。
- ・調度よかったと思う。
- ・90%の学生がレベルについて適切と回答し（ややも含めて）、不適切と感じた学生はいなかった。これでよいと考える反面、短大の授業としてはキャパオーバーであるとしても学問として難しいと感じるレベルの事も提示すべきなのでは・・・というジレンマを抱えている。
- ・学生の興味がバラバラなのでどのレベルに置くか、難しいところがあった。
- ・レベルは高いと思います。手の動き体の動きが良いです。
- ・評価が3.5と3.7なので、大体よかったのかなと思っています。
- ・評価は2名が4で、残り全員が5だったので、学生たちに合ったレベルで展開できたと思う。
- ・一部の学生にとっては、難しいようである。
- ・レベルが高いと感じる学生も居るようですが、やや高度でも充実感を得てもらいたいと思う。
- ・2クラスはそれぞれ4.1と4の評価でした。レベルは学生にとって適切だったのではないかと思います。
- ・インテグレートッド・イングリッシュに関して：読解を苦手とし、ひとりでは学習できないような学生もいて、そのような学生には難しい語彙があった。テキストを終わらせねばならず、多くの課題を省略することになった。学生のニーズよりテキストに重きが置かれているように思う。

b.量について（有効回答数 52/71）

- ・受け止め方なので、断定はできないが、学生の4.5という評価は妥当な量だと考える。
- ・課題（宿題）は授業の「量」に含まれるのでしょうか？
- ・概ね適切であったと思う。学生にレベル差があるので指導方法を工夫したい。
- ・量についてもレベル同様若干多かったという評価であるが、これについても問題はないと思われる。量が適切と評価されるよりも、学生側からすると量が多いくらいの方が、適切な授業であると考えられる。
- ・毎回、前回の内容の復習を授業冒頭で行うなど、学習内容の定着を図りました。難しいという意見が平均よりやや多い結果でしたが、こうした工夫を行うことで、レベル・量、両面とも現状を維持するようにしていきたいと思います。
- ・教科書のページ数が非常に多かったことに対し、脅威を感じた生徒が多かったのは事実だと思います。学ぶ範囲は広いものの、上述したように専門知識として必須の内容ばかりのため、是非ともついて来てほしいと思います。

- ・15回の講義は適切な学習量と考えている。
- ・納得できる。
- ・本年度は例年よりレベル・量を下げた。この結果学生の評価は上がったようである。しかし、これが良いことかどうかはわからない。
- ・量についてもレベルと全く同じ結果で、同様の感想をもっております。（「難し過ぎた」と「やや難しい」を合わせて0人、「やや易しい」と「易し過ぎた」を合わせて2人という結果でした。昨年（2017年度）の結果は、前者が5人で後者が0人でしたので逆転したことになります。高校における情報教育や家庭へのPCの普及の影響でしょうか。）
- ・評価としては全体平均と拮抗しているが、量的にはもう少し増やしたいと思う。但しもし量を増やせば評価はおそらく低下するものと思われる。
- ・妥当だと思います。
- ・実際の分量はあまり変わっていないが、評価は以前よりはよくなった。受講生たちがきちんと授業に取り組んでいた反映だと思われる。
- ・問題ないと考えます。
- ・学科の特性から、半年或いは1年の間に「これだけ」という量と内容が必要であるため、何とかより多くのことを理解してもらおうと懸命に授業するが、内容が濃すぎて全員の理解を得るのは自分にとっては至難の業である。
- ・それほど高いとは思わなかったが、少し高かったのかと考えさせられた。
- ・限られた時間内での授業なので分量は調整したものであり、受講する学生としては相応の回答であった。
- ・この10年間、説明や媒体には工夫してきましたが量は変えていません。十分学生に受け入れられていると考えます。
- ・20枚程度レジュメを渡したので、少し多すぎたかもしれないと思っている。
- ・この程度の量で良いと思います。
- ・量については、できるだけ減らしたつもりです。これ以上は教育上、どうしても減らせません。
- ・他の評価がほぼ5であるのに対して、レベル評価は4.5でした。授業では学界の通説、世間の常識、そして新しい歴史の見方を話しました。少し盛り沢山すぎたかも知れませんが、学生の学習レベルをもう少し考慮すべきでした。
- ・ほとんどが1回の授業で習得できるようにプログラムを組んでいるので、学生もやり易かったと思う。
- ・適当だったようだ。
- ・専門分野に関して広く捉えている科目のため、与えられた時間を有効に活用し、出来るだけのことを伝えたいと考えている。また、演習科目では、作業の積み上げとともに進行していくため、取り組み姿勢によっては期日直前での作業量が多くなってしまふ。

- ・量的には、適正、どちらともいえない、多いという意見に分かれたようであるが、かなり時間配分について考慮したつもりです。したがって適正と考えています。
- ・教える量を予定よりだいぶ減らしたので、適当だったと思いたい。
- ・「やや多い」という回答がほとんど。多少量が多いと感じているようだが、授業を受けた結果、興味や感心が増え、新しい知識や技術を得ることができたと感じており、この授業を受けてよかったと感じているようなので、あまりレベルを下げることを考えなくてもよいかと思う。ただし、多少内容を集約する等の工夫はしたいと思う。
- ・実験が3コマ続きとなっていますが、微生物の培養などがあるため、1.5 コマの倍の内容はできません。そのため、1.5 コマで実験を実施している施設と比較しますと、その量は2/3位しか出来ておりません。
- ・「a. レベルについて」と同じ理由で、「毎週のテストが大変だからイヤ！」と言っているだけだと思われる。
- ・一人一人全員に当てるようにしたので、問題量は適切だと思う。
- ・食栄：やや少ない100%、英コミ：やや多い50%、多すぎた50%、同じ量だったのに。
- ・時間的に考えると良いと思います。
- ・1科目において今年は3.6と、例年より低かった。受講生は2年生が多数だったが、こうした評価の因由は不明。他科目はいずれも4.3なので、適正範囲と言うべきか。
- ・量が多いなと思っていた科目については案の定多いとの評価が多かった。レベルと同じく今後考慮した授業を試みたい。
- ・特に資格に関連する科目について、量が多いと感じている学生が見受けられる。この辺りについては範囲を狭めることは難しいため、伝え方の工夫に取り組む必要があると感じた。
- ・同様に、レベルが下がってきているので、量で対抗せざるを得ない部分があるが、これも成績の低い学生に行くに従って負担感が強いようだ。
- ・依然として、多い・やや多いとする層が多い。しかし、これ以上授業内容を減ずるわけにはいかないところまできているので、量の面での変更は困難。
- ・これもどの程度を目安にするか難しいとことだが、50%くらいの学生が妥当だと判断してくれば良いと思う。「今回も多すぎた・少なすぎた」とも0であったので、まあ良かったのではと思う。
- ・学生のレベル（学習意欲や理解度など）と学習の量すなわち進め具合が異なる。理解度の向上を指標に設定している。
- ・一部、適切ではないとの回答がありました。しかし、そのほとんどは「多い」と回答しており、基礎学力や意欲が不足している学生がみられる状況では、このような回答が出てくるのは仕方がないことだと思います。
- ・学生の個人差があるため、全部の学生に満足というわけにはいかなかった。
- ・適切。
- ・概ね適切という評価
- ・量が多いと学生は感じたとしても学ぶために入学したのですから勉強を第一にする必要があることをくり返し考えてもらってほしいです。

- ・よかったと思う。
- ・95%の学生が量については適切と回答している。「やや」も含めて) 量が多過ぎると意欲低下につながり兼ねないのでここはこれでよい。
- ・本来ならば通年でやるのが一般的なので、半期では厳しい面もある。
- ・1回4品なので料理によって少し減らしたらいいと思います。
- ・3.5と3.7なので、大体良かったのかなと思っています。
- ・1名だけが4であったが、特別な学生も含まれており、その学生も楽しく充実して受講してくれて、後半では声も出て発表も可能になったのですばらしい成果が出て、質と量共に最適だったと思う。
- ・2クラスはそれぞれ4.2と4.1の評価でした。量は学生にとって適切だったのではないかと思います。

設問3. この評価結果を踏まえて、今後の授業で特に改善を図りたい点はどんなことですか。

(有効回答数 20/71)

- ・今回の授業評価で最も反省すべき点は「興味や関心はふえましたか」についてである。もう少し、学生のニーズを計り、授業に取り入れたいと思う。
- ・私の授業では、理解できたとする学生と出来ないとする学生が、割と別れていた印象があります。その結果をふまえ、より多くの学生に分かりやすい授業を考えたい。
- ・毎回の「授業アンケート」で、感想と質問を受けつけており、学生とのコミュニケーションは取れている。翌週の授業でその結果を配布しており、復習を兼ねて「質問」に答えている。また、毎回「ビデオ、DVD」を上映しており、視聴覚教材を利用している。
- ・一部の学生から聞き取りにくいという意見があった。今後は、どのような状況でも伝わりやすい話し方、声を工夫していきたい。
- ・PCスキルの高い学生の不満がボツボツ見え始めたように思えます。これらの学生への対応を考え、改善策を模索中です。
- ・「授業と関係ない話をしたか」の項目では、受講者数の多い授業で評価が低かったので来年度授業中の私語に対して厳格にしていきたいと思います。
- ・さらに内容を厳選し、分量を少なくして噛み砕いて説明し、ゆっくり授業を進め、できるだけ大方の受講生たちが理解できるよう努めたい。一方で、「やや難しい」が「おもしろい」くらいの授業もよいのではないかと、とも思われる。
- ・学生どうしがかかわり合う授業を展開したいと思っています。
- ・私語の撲滅を図る。
- ・今回が最後の授業でした。残念ながら改善のチャンスがありません。お世話になりました。
- ・実例を増やしたいと思っている。7も従来から心がけてはいるが、問題意識のない学生や受動的な学生が多いと、時間を食う。それが悩みの種になっている。
- ・1～8の項目に関しては、改善を図りたい点はありません。
- ・TOEICの公式問題集は、学力が中程度のクラスについては難しすぎると思う。
- ・クラス別（レベル別）の配布資料を作る

- ・特定科目のレベルと量。ただし、今回は例年と極端に異なるものだけに、改善のつもりが改悪にならぬよう、慎重に取り組みたい。
- ・もう少しレベルを上げてみたい。学生自身に考えてもらえるよう（教員が全て答えを与えない）工夫したい。（参加体験型学習やふりかえりシートを使ったコミュニケーションは実施しており、学生の評価も高かったので）
- ・ひとつの授業で私語があったので、座席を指定したらなくなった。これからも座席指定するなど、私語対策をする。
- ・一回ごとの学習目標と達成を互いに分かるように明確にする。
- ・ブロック体での板書を徹底させたい。学生との授業中の対話を充実させたい。
- ・教室が、机可動式であれば、よりエンカウンターの効果が出ると思いますので、環境改善を図りたいと考えます。

設問4. この評価を見て、学生に対する要望としてはどんなことがありますか。

（有効回答数 19/71）

- ・出された課題は必ずやってきてほしい。学習意欲をもっと発揮してほしい。
- ・試験にとっても神経質になっている学生が多く見受けられた。確かに単位をきちんと修得することが大切だが、受験教育の片鱗を窺わせるようで、少々大学教育の本分からかけ離れた意識を持っているように感じた。
- ・比較的レベルが高い進学希望者がいる一方、体調不良を理由に遅刻、欠席が多い学生もいる。将来に向けての体調管理を学ぶ場でもあるので、出席するよう努めてほしい。
- ・気楽に英語を喋ってみてほしい。
- ・教科書を持ってくるようにしてほしい。
- ・すべての(設問)項目について要望したい。「その他」については「努力せずに楽に身に付く知識や技術などは存在しないことを知ってもらいたい」ということ。
- ・欠席、遅刻、早退は多くないが、実験授業は経験が大切で、なるべく居ない時間を無くしてほしい。幸い同じ授業を2回行っているのだから、可能であれば振り替えて受講してもらっている。
- ・高校で学んだ知識を忘れないで、大学の勉強に役立ててほしい。
- ・授業中の学習態度が受動的に過ぎる気がする。授業中に1回は当てる様になっているが「分かりません」と言って、考えずに済まそうとする学生が居る。せっかく時間とお金を費やしているのだから、何か一つでも自分で考えて主体的に取り組んでみれば、もっと興味がわくのに、と思う。
- ・学生達の幸せと飛躍に期待している。
- ・一部の学生の私語が多く、注意しても改善されない。携帯でメールをこそこそと見ている。

- ・試験中の不正行為は絶対にしないでほしい。
- ・言われたことや確認に対して反応してほしい。分かったのかどうか反応がない。返事が無いので進行すると、後から「やった方がいいのか」と聞かれたりする。今まで何をしていたのか疑問になる。
- ・幅広い興味、知識を得るよう、積極的に読書や映画を見る、新聞を読むなどをして欲しい。授業以前の知識が少ないので。
- ・私語だけでなく、飲食、携帯などマナーが年々悪くなっている。やる気のない学生は入学しないで欲しい。
- ・当該学科の受講生に要望を出すと個別問題になる。一部の、何度促しても発言しない(できない)学生は、それで当該学科の学生のつもりなのか。学びの場でもコミュニケーションを実践することを望む。
- ・熱心な受講生の中には、自己評価が厳しく、自信がない学生も見受けられる。(成績をみて多少自信が持てたとは思うが) 今持っている一種の不安(?)をバネにして学び、追究していくなかで、少しずつ自信を持って行って欲しい。
- ・1～4を回答したら、学生はそうするようになるのだろうか? 書くだけ無駄な気がする
- ・授業の妨げになるような“私語”は注意しているが、私語はある程度“容認”している。叱るより、“短大生”としての自覚を促している。

設問5. 授業改善に関することで、学科や短大に要望があれば具体的にお書きください。

a. ハード面（情報機器、用具、備品など）について（有効回答数 32/71）

- ・エアコンが黒板の前に集中し、教員は寒いが学生は暑い。教員用パソコンが使いにくい。
- ・大教室には後の座席の学生にもよく見えるよう、せめて黒だけでも極太のホワイトボード用ペンを常備してもらいたい。
- ・各種 DVD ディスクが再生できる機器を設置していただきたい。
- ・書画カメラの精度が悪く不鮮明になってしまうので、記念館 201 の機種を変えた方がよいと思う。
- ・他大学と比較しても教室の設備（プロジェクタ、AV など）が悪い。
- ・いつもよく準備していただき、授業がスムーズに進行しています。感謝です。
- ・ワイヤレスマイクの⑦音質が悪いときがある。(人数が少なかったなので、マイクを使わなくても大丈夫だったが)
- ・0A の充実
- ・机が可動式の教室だとグループディスカッションがやりやすい。
- ・ブルーレイなど新方式のディスクに対応した機器の導入

- ・ホワイトボード使用の教室では、マーカーの補充などが不十分である。科目内容、受講人員などと教室の構造、広さなどがマッチしていないため、効率が悪い場合がある。
- ・本館 109 教室（第 2 コンピューター演習室）を使わせていただいておりますが、CD-ROM が使えない時があり、メンテナンスを常時お願いします。
- ・施設設備を充実してほしい。本学が日野で開講した時のものをずっと使っているので計画的に設備の更新をするべきであるとする。
- ・黒板のスペースがもっとあると助かります。
- ・ホワイトボードに細字のマーカーで書くと、後ろの方の席からは見えにくくなってしまふ。また、すぐに字がかすれてきてしまふ。太字のマーカーがあれば用意してほしい。
- ・実験室でマイクを用いているが、音声を拾う機能がもう少しよくなると助かる。
- ・実験設備がもう少し新しくなるとよいが。
- ・教育ビデオなど、視覚的に訴えるものについては反応が強いので、それらのソフトの充実を図っていただけると助かります。
- ・実験の手法、細かい操作をビジュアル的に見せたいので、手元が映せる「プログレッシブスキャン」のようなものがあると学生には理解しやすいかもしれません。
- ・毎週、CD を使うのですが、重い教科書や大量のハンドアウトなどの教材を両手に抱えた上に CD プレーヤーを持ち運ぶのは不可能です。現在はやむなく副手の手を借りていますが、CD プレーヤーは各教室に備え付けとしていただくことを強く希望します。教室から研究室に至急連絡したい場合、現在は自分の携帯電話で連絡をとっていますが電波の状態がうまくつながらないことも多く、とても不便を感じています。各教室から研究室と事務室に連絡可能な館内電話の設置を希望します。
- ・人数を 30 人ぐらいに減らしてもらいたい。学生が多いと後ろの学生の声が聞き取りにくいので時間のロスが多い。
- ・ホワイトボード用の筆記具が時にインク切れとなっているので、教室に常備してあるとよいと思う。
- ・マーカーの補充をこまめをお願いしたい。
- ・「授業改善」に直結することではないかもしれないが、教室に設置されたノート PC の Office のバージョンが古く、2007 で作った PowerPoint ファイルが正確に表示できない。早急に対処してほしい。（2 年前、学内の PC を 2007 にするからという理由で半強制的に、かつ学科予算をもって研究室で使うソフトのバージョンアップを強いられた経緯がある。）
- ・使用教室は「本館 301 号」教室であったが、充分すぎる“設備と機材”が保証されている。副手のかたが、良くサポートしていただけて感謝している。
- ・食物栄養学科についていえば 設備、機器、実習の食器などは教育とは言えないほどお粗末。給食管理ソフトも 80 人定員に対して 12 台しか導入してもらえない。

- ・満足している。
- ・講義室の PC、プロジェクターが旧式になりつつあります。更新をご検討くだされば幸いです。
- ・中教室にもワイヤレスマイクがあるとありがたいのですが……。
- ・一つの教室内の座席数を一列分ずつ減らし、机・椅子も軽量で移動可能なものにとりかえて、座席配置のレイアウトを工夫できるようにしていただけるとよいのですが。
- ・現状で充分だと思います。
- ・調理室の排水面など設備の老朽化を改善していただきたい。
- ・実習室に製氷機を設置していただきたい。
- ・避難用出口を増やしていただきたい。

b.ソフト面（科目の位置づけや時間割の組み方など）について（有効回答数 14/71）

- ・学習意欲や積極性のためにも、学習方法の支援、レポートの書き方など学ばせて欲しい。今までに学んだことがないため、質も悪いし、本人も不安をかかえている。
- ・短大は4年間相当の勉強を2年間で行うので、そのための心構えをもっと学生に徹底させることが大切だと考えます。
- ・社会に出た場合に、必ずや役に立つと思う授業科目は、後期も開講してほしい。学生も興味と関心を持ってきているので。
- ・授業方法等について教員間で議論すべきである。
- ・定期試験が通常の講義時間内に設定されていたため、1限用と2限用と2種類の試験問題を用意しなければならなかった。せめて定期試験は、まとめて1回で実施していただきたい。
- ・FD活動を活発化すべきである。
- ・学校全体として、学生を過保護にしない体制、雰囲気づくりをすることを要望します。
- ・Excelで十分であると思われませんが、一部教室でよいので統計ソフトのSPSS等あれば学生にとっても良い体験になる気がします（私が非常勤をしている他の3大学はいずれもSPSSが入っています）。
- ・Firefox(webブラウザ)、Picasa(写真管理)、gimp(画像処理)など性能がよく無料なソフトウェアがあるので、それを積極的に導入してほしい。
- ・実習を取り入れる場合には、全員にコンピュータ(DTPソフト)があったほうが良いが、今のところ“紙とエンピツ”で間に合うようなワークショップ(作文、企画、POPづくり)で済ませている。
- ・満足している。
- ・1限と2限の間の休み時間が長くなりましたが、短い方が個人的には好ましいです。
- ・当科目では現状のままで結構です。
- ・インテグレート・イングリッシュに関して：習熟度別クラス編成にするのであれば、共通テキストや共通テストはやめるべきである。

**設問 6. 学生アンケートの内容、実施方法について、ご意見やご要望があれば具体的に
お書きください。(有効回答数 24/71)**

- ・評価項目 9「授業内容のレベル」と 11「授業内容の量」に関しては、質問の仕方が不適切だと思う。(検定の問題レベルや数は規定されていて)講座のレベルを下げたり、量を減らしたりすることは不可能である。だから、授業ではできるだけわかりやすく指導しているつもりですし、多くの学生が自由記入欄に「わかりやすい」と答えている。
「難しい内容であってもわかりやすく教えているかどうか」という設問に替えるべきだと考える。
- ・大学と短大のアンケート質問を合わせた方がよい。短大の平均は高く(ほとんど 4.0 を超えている)、大学では 4.0 を超えている科目は半分しかない。その違いはなぜなのか?
- ・学生が何を学びたいのか」という事が聞き出せる項目があっても良いと思う。
- ・「大学の授業を受けることは一般のサービスを楽しむことと違う」ということを知るべきである。その上でアンケートを実施して欲しい。実のある授業改善につながる事を希望する。
- ・学生はこのアンケートを理解して回答しているとは思えない。講師名や授業名を間違えて、書く学生もうんざりしている感がある。
- ・学生の率直な感想や意見が聴ける様にして欲しい。辛口の見解があっても当然しかるべきとは思いますが、(残念ながら?) 今回はほとんど無かった。
- ・基本的な学びが身につけていない学生の授業評価についてはあまり興味がない。シラバス通り、教科書通りに進めていても「予定通りでない」と評価してくる。テストの点数が著しく低い学生に、高校での受験勉強を尋ねると「先生が出るところを教えてください」「プリントを覚えれば良い事になっていた」とのこと。また、高校も短大も推薦入学で、これまで試験らしい試験を受けてこない。このような学生には授業の理解は無理だと思う。かといって、授業レベルを落としてしまうと高等教育機関ではなくなり、一気につまらない短大になってしまう。学生からの評価は受けなくても、社会に残る学校になるためには学生に迎合するつもりはない。小・中学校の理科を勉強してこない学生にあわせるつもりはない。この学生アンケートに関する部門の担当者は教員に何を期待しているのか。学生評価を受けて何をしたらよいと言うのか。また、実習科目についても、「出席すれば単位がもらえる」といった姿勢で実習していて、何かを身につけようという意欲がない。教員の努力と工夫にも限界がある。資格取得はそんなに甘いものではない。
- ・(語学授業なので)学生が理解しているかどうかは授業の雰囲気ではほぼ判る。アンケートとして結果が出てくると、より参考になる。毎年教科書を換えているが、今年は難しかったようで、テスト結果でそれが判明した。次年度はもう少し簡単なものを選びたいと思う。
- ・使用しているパソコンが、フロッピーを使用できるシステムにはなっていないので、希

望者には、アンケート調査のフォーマットをメールまたはUSBなどで送ってもらえると助かる。

- 学生の生の声は、各教員の授業改善にとっても、短大FD推進活動にとっても貴重な資料なので、これからも実施して欲しい。
- 実施は3年に1度でよい。
- 座学だけでなく、学生の参画や体験学習を想定した評価があっても良いと思う。
- 授業の改善が目的ですから、選択式設問だけでなく記述式設問も設けてもらいたい。例えば設問4など、わかりやすかったかどうかの評価のみでは十分と言えず、どのように改善したら良いと思うか、学生に具体的な意見を書かせる必要がある。なお、電子データはメールまたはCD-Rで送ってもらうと助かる。
- 今後の授業運営に役立てたい。自由記入欄の感想や要望は学生の生の声であり、大変参考になるので、これからも記入を促していきたいと思う。
- 学生アンケートは授業評価のアンケートという意味以外にも、授業を通して何を学んだかを確認する機会となるように工夫すると良いのではないか。その方がアンケートをより意味のあるものにすることができると考える。また、学生が書き込んだ部分を見ることによって、学生の技量（アンケート延いては授業に対する姿勢や能力、学生のアンケート結果の妥当性）を推測する一助となるはずである。
- 毎回、参照後のアンケート用紙の処理に困っている。どこかで、一括して請け負ってもらえるとありがたい。
- フロッピーディスクはやめて欲しい。勤務先では読み取り装置がほとんど廃棄されており、探すのにきわめて苦労した。
- 集計方法が同じため、答えがいつも同じになってしまう。そろそろ何かしらの工夫が必要だと思う。
- 実践入門セミナーのようにあらかじめスケジュールの縛りがきつく、教員自身がコントロールできない必須科目は、そもそも授業評価の対象とすべきではない。
- アンケート結果は、教員が個人的に使うだけでなく短大全体の取り組みに活用される事を望んでいる。
- 他人の集計用紙が配られた。是非交換して欲しい。今後このような事が起きないように周知徹底してもらいたい。
- 学生の素直な意見を、次回の講義やシラバス作成に反映させていきたい。
- アンケート実施について、通年科目は年1回で良いのではないか。新任教員に対しては初年度だけ年2回でも良いが。2年に1回の大学(4年制)もある。
- 学生に迎合して必要以上にレベルを落とした授業や、楽しいだけの学生にとって楽な授業はしたくない。真剣に勉学のために必死で授業料を払って入学した学生に申し訳ないので、毎回ほぼ同じような評価を知らされてもどうしようもない部分が残りに、全学生に満足される授業は難しく至難の業と感じるのは自分だけだろうか。
- 毎回このアンケートを実施しているが、結果が自分にとってどれだけの効果をもたら

したのかといつも疑問に思う。実際のところ、自分の役に立ったと思える事はない。自分が聞きたい事がこのアンケート項目とは一致しないため、別途に記名での科目アンケートを最後にとっている。

さらに、当初はまったくなかった「悪意のある評価や感想」が、最近非常に目に付くようになった。今までは「そういうふうを受け止める学生も居るのか」「自分に反省すべき点や改善すべき点はあるか」と考えてきた。しかしどう冷静に考えても、これではネット上のコメントや掲示板の無記名な書き込みと同じです。感情だけにまかせ、公正にできない評価ならば、全く意味がない。

今後もこのアンケートを採るのに無記名で、まさに言いたい放題書く、という状態では、実施しても受け取った後、封も開けずに終わるという事になりそうだ。

最も改善を切望する事は、アンケートを「記名」にし、学生に自分の発言・記載に責任を持たせる、という事です。

「学生による授業評価」に関する教員アンケート

自己評価委員会

2009 年度前期授業アンケートについて、以下のアンケート項目にお答えください。

1. 学生の評価を全体としてどう受けとめましたか。（1つ選んでください）

【回答欄】

1. この評価は十分納得できる
2. だいたい納得できる
3. あまり納得できない

- ・ 納得できる点、あるいは納得できない点があれば具体的にお書きください。

2. 授業のレベルと量についての学生の評価はいかがでしたか。この評価について、先生の側から見たご意見があればお書きください。

- a. レベルについて

- b. 量について

3. この評価結果を踏まえて、今後の授業で特に改善を図りたい点があれば下記からお選びください。
(複数回答可)

【回答欄】

--	--	--	--	--

1. 教科書の選び方、授業時における使い方を工夫する。
2. シラバスの書き方を工夫し、シラバスに添った授業を行う。
3. 教室での話し方、板書の仕方などを工夫する。
4. 授業時に配付する資料を充実させる。
5. ビデオや映像資料などの視聴覚教材やマルチメディアの活用を図る。
6. 学生との質疑応答など、教室内のコミュニケーションをよくする。
7. 一方的な講義でなく学生の参画や体験学習にも力を入れる。
8. その他。

「その他」をお選びの場合には、改善を図りたいと考えている点をお書きください。

4. この評価結果を見て、学生に対する要望としてはどんなことがありますか。(複数回答可)

【回答欄】

--	--	--	--	--

1. 私語を慎むなど受講態度をよくしてほしい。
2. もっと積極的に質問をしたり、授業後でも分からないことがあれば聞いてほしい。
3. 教科書や教室で指示した参考書を読むなど、授業時以外でも勉強してほしい。
4. 欠席はもちろん、遅刻、早退をしないように努力してほしい。
5. その他。

「その他」をお選びの場合には、その要望をお書きください。

--

5. 授業改善に関する事で、学校への要望があれば具体的にお書きください。

a. ハード面(情報機器、用具、備品など)について

--

b. ソフト面等について

--

6. 学生アンケートの内容、実施方法について、ご意見やご要望があれば具体的にお書きください。

--

ご協力ありがとうございました。

集計の結果は、自己評価委員会で報告書にまとめた上、Web上でも公表する予定です。
なお、自由記述に関しては、必要に応じて字句や表現を修正させていただく場合があります。

提出締切は、10月17日(土)です。

授業に関するアンケート

実践女子短期大学

このアンケートは、学生の皆さんの意見を受けとめて、短大の授業をより良くしていくために行うものです。アンケートは無記名で行い、調査結果もデータとして統計処理します。誰が書いた回答かわかりませんし、授業の成績とも関係しません。あなたの思っていること、感じていることを正直に答えてください。

所属学科	<input type="radio"/> 日本語コミュニケーション学科 <input type="radio"/> 英語コミュニケーション学科 <input type="radio"/> 実践女子大学	<input type="radio"/> 生活福祉学科 <input type="radio"/> 食物栄養学科 <input type="radio"/> その他	授業名	
在籍学年	<input type="radio"/> 1年生 <input type="radio"/> 単位互換生	<input type="radio"/> 2年生 <input type="radio"/> その他	担当教員名	

評価項目		⑤	④	③	②	①
あなた自身の授業の取り組みについて	1 あなたはこの授業中に授業と関係ない会話をしたことがありますか	全くなかった	ごくまれにした	時々した	かなりした	毎回した
	2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない

教員の授業の進め方について	3 講義概要などの授業計画にそって、授業は進められましたか	←	そう思う		そう思わない	→
	4 授業内容がわかるように構成されていましたか	⑤	④	③	②	①
	5 教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすいものでしたか	⑤	④	③	②	①
	6 この授業の教科書・資料や視聴覚教材の使用は適切でしたか	⑤	④	③	②	①
	7 質問に対する教員の対応は適切でしたか	⑤	④	③	②	①
	8 総合的に考えて、教員は熱心に授業を進めましたか	⑤	④	③	②	①

授業の内容について	9 授業内容のレベルはあなたにとって適切でしたか	←	そう思う		そう思わない	→
	9で②か①にマークした人は次の質問に答えてください	⑤	④	③	②	①
	10 授業内容の難易度はあなたにとってどうでしたか	難し過ぎた	やや難しい		やや易しい	易し過ぎた
	11 授業内容の量はあなたにとって適切でしたか	←	そう思う		そう思わない	→
	11で②か①にマークした人は次の質問に答えてください	⑤	④	③	②	①
	12 授業内容の量はあなたにとってどうでしたか	多過ぎた	やや多い		やや少ない	少な過ぎた
	13 この授業を受講して、あなたの興味や関心はふえましたか	←	そう思う		そう思わない	→
14 この授業を受講して、新しい知識あるいは技術を得ることができましたか	⑤	④	③	②	①	
15 総合的に考えて、この授業を受講してよかったですか	⑤	④	③	②	①	

授業別の特別設問	16 この項目は、教員から特に指示された場合のみ回答してください	←	そう思う		そう思わない	→
	17 この項目は、教員から特に指示された場合のみ回答してください	⑤	④	③	②	①

自由記入欄(授業への感想や要望などを自由に書いてください。裏面使用可)

©2009 年度実践女子短期大学自己評価委員会

- 委員長 : 萩野 敏 (英語コミュニケーション学科)
副委員長 : 松尾昇治 (教職・図書館学課程)
委員 : 高瀬真理子 (日本語コミュニケーション学科)
西脇智子 (生活福祉学科)
久保勝知 (食物栄養学科)
庶務 : 八幡隆文、有賀昌子